

平成29年 湖西市議会3月定例会

市長施政方針説明

平成29年2月23日

(はじめに)

昨年 1 2 月に市長就任以来、3 ヶ月が経過しようとしております。

まずは、先月、市の職員が逮捕されたことに関し、市民の皆様はじめ、社会に多大な不安とご迷惑をおかけし、信頼を損なったことについて、心よりお詫び申し上げます。

職員には、これまで以上に、服務規律の順守徹底と、綱紀の肅正を図り、市政の信頼回復に努めるよう指示をいたしました。

本日ここに、平成 2 9 年 3 月定例会が開催されるにあたりまして、『新年度に向けた市政運営に臨む基本的な考え方』と『主要な施策の概要』を申し上げ、市民の皆様をはじめ、議員各位の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(1 市政執行の基本姿勢)

私は、『次の時代へ全力投球』をスローガンに、子育て・教育は『幸福度日本一のまち』、まちづくりは『人口減少に歯止めをかけ、活気あるまち』、福祉は『日本一おもいやりのあるまち』、防災は

『いのちを守る』、産業は『エネルギーなまち』を目指すことを
お約束して、市政運営に着手いたしました。

これらは、いずれも、私が重点事項として取り組むものであり、で
きるころから、平成29年度の予算編成に臨んだところであります。

また、これらの重点事項の実現に向け、現状と課題を把握するため、
就任してすぐさま、関係部署に出向き、聞き取りを行いました。

財政事情や、制度設計が必要など、一朝一夕にはいかない事も多々
ありますが、持前の行動力と、これまで財務省等で培った経験を発揮
し、一步一步、着実に進めていくことを改めて自覚するとともに、今
後も、初心を忘れることなく、『活気あるまちづくり』のため、全力
投球で市政運営に邁進してまいることを誓ったところであります。

(2 平成28年度の振り返り)

ここに、市政運営の基本を述べるにあたりまして、まずは平成28
年度を振り返ってみたいと思います。

最初に、市民の皆様が安全で安心して暮らせるよう、取り組んでお

ります防災・減災対策につきましては、

津波避難施設空白域に対する津波避難施設の整備のため、住吉地区
の命山の工事に着手するとともに、日ヶ崎 ひがさき 地区津波避難タワーの実
施設設計と用地取得を本28年度中に完了させるよう進めております。

また、消防活動におけるはしご車の整備におきましては、『車両の
操縦』や『はしご操作等』の事前訓練を行った上、2月1日から運用
を開始しております。

次に、教育環境の整備と文化を振興する取り組みにつきましては、

新居小学校ガラス飛散防止事業は、8月に工事を完了させ、安全を
確認しております。

また、湖西市民会館耐震改修事業におきましては、事業費の大幅な
増加等の理由により、残念ながら耐震改修事業を白紙に戻し、市民会
館の解体に向け、現在準備を進めているところであります。

次に、自然と環境へ配慮した取り組みにつきましては、

中之郷地区の未利用市有地、約2万5,000㎡を利用して行いました、太陽光発電事業『湖西ソーラーウェイ』は、最大出力1,501kWの施設として2月に無事竣工しました。

また、衛生プラント施設改修事業におきましては、予定どおり8月に工事が完成し、順調に稼働しているところであります。

次に、快適で便利な暮らしを実現するための都市基盤整備につきましては、

きょうじょうか なんぼくじゅうつうろ
JR新所原駅の橋上化 及び南北自由通路の整備におきまして、
11月26日に、関係各位ご臨席の下、完成式典を開催し、翌27日から供用を開始いたしました。

急傾斜地崩壊危険区域における災害防止対策につきましては、白須
しゆくきた
賀宿北 地区において、1月に県から区域の指定を受け、今年度中に、
県で用地測量と設計まで行われる予定であります。

次に、市民の健康づくりと子育て支援の取り組みにつきましては、

子育て支援の拠点である子育て支援センターの環境整備のため、
12月に予定どおり空調設備の改修を完了いたしました。

産婦人科医の誘致助成事業におきましては、残念ながら、現在までのところ、応募がない状況ではありますが、引き続き産婦人科医の確保に向けて取り組んでまいります。

次に、安定した生活を支える産業の発展と人材交流の取り組みにつきましては、

女性の活躍推進のため、『企業等を対象とした講演会』、再就職支援のための『各種セミナーの開催』を実施しました。さらに、シニア世代の活躍のための『ものづくり人材育成事業』、商工会への委託事業として、『テクノフェアによる次世代産業コーディネート事業』に取り組みました。そのほか、浜松市と連携した浜名湖観光圏整備事業として、『サイクリング事業の環境整備』、『浜名湖おんぱくの実施』、『かき小屋など特産品のPR』を行いました。

マイナンバーカード関連では、3月から証明書等のコンビニ交付を開始することにより、市民へのサービス向上とカードの普及促進に取り組んでいるところであります。

最後に、安定した財源の確保と湖西市を全国に発信する取り組みにつきましては、

ふるさと納税推進事業におきまして、先の12月末までの9ヶ月で約4億円の寄附がございました。ここから返礼品等の経費を差し引いた約1億6千万円を「ふるさと応援基金」へ積み立て、平成29年度予算に繰り入れてまいります。

また、今後の公共施設の老朽化を見据え、その対応に多大な経費が必要となることへの対策のため、中長期的に公共施設の在り方を再構築する『湖西市公共施設再配置基本計画』を、現在策定しているところであります。

豊田佐吉翁生誕150年記念事業におきましては、記念グッズやポ

スター等による啓発活動に合わせ、昨 27 年度に作成した、日めくりカレンダー等のグッズ販売及び、記念行事を行いました。

さらに、本年 2 月には、テレビ番組の放映と、佐吉翁を名誉市民に推挙する記念式典の開催により、生誕 150 年を祝うとともに、『佐吉翁のふる里湖西市』を全国に発信いたしました。

このように、平成 28 年度は、私が市長に就任した年であるとともに、湖西市にとって次の時代に向け、新たなる一步を踏み出した、節目の年であります。

(3 平成 29 年度 予算案)

((1) 経済状況と国の動向)

続きまして、平成 29 年度予算編成の前提となる、社会・経済と国の動向につきましては、昨年 6 月に閣議決定された『経済財政運営と改革の基本方針 2016』いわゆる骨太方針 2016 において、人口減少・高齢化社会の下での期待成長率の低下や子育て環境の改善の必要性から、将来にわたって成長力を確保するため『東京一極集中の是

正』、『若い世代の就労・結婚・子育ての希望実現』、『地域の特性に即した課題解決』を基本的視点として、地域が持つ魅力を最大限に引出し、国及び地方において官民の総力を挙げて地方創生を本格展開する」と示されております。

これらはまさに私の掲げる重点施策そのものであり、本市における地方創生を着実に推進していく必要性を感じているところであります。

本市の身近な状況といたしまして、市内の企業代表者の方々からは『大企業と異なり、円安のメリットを十分に享受しにくい中小企業では、投入価格の上昇を生産価格に十分に転嫁できないため、収益が圧迫されてしまい、景気の変動について大きな変化は見られない』等の意見を伺っており、景気回復の波が地方に届くにはまだ幾分かの間が必要であることを強く感じるとともに、市財政におきましても、税率変更等による法人市民税の減収により、平成29年度も厳しい状況が続くと認識しているところであります。

(2) 平成 2 9 年度予算案の姿)

このような社会・経済情勢ながら、私が初めて手掛ける平成 2 9 年度の予算編成におきましては、幸福度日本一のまちづくりを目指し、まずは、子育て支援の充実を念頭に、新・湖西市総合計画に示された 7 つの目指すまちの姿に向かって、「選択と集中」の考えのもと、地方創生施策の戦略的な展開のための予算を作成いたしました。

平成 2 9 年度当初予算額は、

一般会計	2 1 3 億 5 , 0 0 0 万円
特別会計	1 2 7 億 7 , 0 3 8 万 8 千円
企業会計	5 8 億 7 , 1 3 0 万 6 千円
全会計合計で	3 9 9 億 9 , 1 6 9 万 4 千円

となり、前年度と比較して 1 . 4 %、約 5 億 5 千万円の減額となりました。

一般会計において、歳入の根幹となる市税の合計は、前年度とほぼ同額となっております。

国庫支出金や市債につきましては、新所原駅南北自由通路や衛生プラント改修工事の事業完了等に伴い、前年度より減額となっております

す。

また、地方交付税の中の、普通交付税につきましても、合併算定替えの激変緩和期間の3年目を迎え、前年度より2億3千万の減額となっております。

次に、寄附金につきましては、引き続き「ふるさと納税制度」を強力に推進することで、平成28年度予算と同額を見込みました。

歳出では、衛生プラント改修事業等の完成により普通建設費が減少となりますが、一方で福祉や医療などの社会保障費は増加傾向となっております。

本予算案について、地方交付税の合併算定替えが終了する平成32年度の財政を見据え『歳入に見合った歳出構造』を意識し、市民の皆様が望む『今、必要な行政サービスの充実』と『将来にわたって魅力あるまちの実現』に向けての事業や諸施策のため、可能な限り予算を配分いたしました。

((3) 予算案「分野別の重点施策」)

次に新年度予算案であります。

私が掲げました『5つの旗』と、本年度中間見直しを行いました新・湖西市総合計画の『7つのまちの姿』に沿ってご説明申し上げます。

まず、1つ目の、「子育て・教育への支援による、幸福度日本一のまち」につきましては、新・湖西市総合計画の「ひとが育つまち」の中での民間保育園等施設整備への補助を行い、安心して当市の未来を担う子どもたちへの保育ができるように努めてまいります。

また、新居中学校校舎ガラス飛散防止事業と鷺津小学校昇降口地震補強改修事業にも着手してまいります。

さらに、「ふれあいあふれるはつらつとしたまち」の中でのこども医療費助成事業におきましては、私の公約の1つでありました、中学生までの医療費無料化を、平成29年度から実施いたします。

次に、2つ目の、「人口減少に歯止めをかけ、活気あるまち」につきましては、まずは、「調和のとれた便利なまち」の中での新所原周辺まちづくり事業におきまして、11月に完成いたしました新所原

駅南北自由通路と橋上 駅舎 に引き続き、北口駅前広場を完成させるとともに、鷺津地区の主要道路であります都市計画道路 鷺津駅谷上線の歩道未整備区間の、事業早期推進のため、用地測量業務を行ってまいります。

また、昼夜間人口の差の解消を図るためにも、市民の皆様のご関心も高い、快適な居住環境の創出や、市街化区域と調整区域の線引きの見直しなどによる、定住化の促進につきまして、有効な対応策の調査研究を進めてまいります。

さらに、公共施設マネジメントの推進のため、公共施設再配置個別計画の策定に取り組むとともに、重点課題と捉えております、湖西病院の機能の充実と経営改善や、市民会館の早急な再整備等につき、効率的で有益な施設の管理や整備を計画的に進めるべく予算の確保により、可能なところから実現に向け、着手してまいります。

3つ目の、「日本一おもいやりのあるまち」につきましては、「ふれあいあふれる、はつらつとしたまち」の中での介護施設等整備事業

におきまして、地域密着型小規模特別養護老人ホーム整備への助成を実施いたしますとともに、平成25年度以降の運転免許証自主返納者には、市が運営するコミュニティバスを2年間無料で利用できる乗車券を交付する事業を開始いたします。

4つ目の、「命をまもる防災」につきましては、「安心して暮らせるまち」かみだ まちの中での地震対策事業におきまして、上田町 地区特定利用斜面保全事業、及び住吉地区命山整備事業の推進を図るとともに、ひがさき日ヶ崎 地区津波避難タワー整備工事に着手いたします。

しゅくきたまた、宿北 地区急傾斜地崩壊対策事業におきましても、継続して取り組んでまいります。

5つ目の、「エネルギーなまち」につきましては、「調和のとれた便利なまち」の中での組合土地区画整理事業におきまして、（仮称）浜名湖西岸地区土地区画整理事業の実現に向け、浜名湖西岸土地区画整理組合設立準備委員会に対して、調査等の技術支援を行うとともに、道路改良において、国道1号浜名バイパス大倉戸インターチェ

ンジから区画整理事業地へのアクセス道路となる都市計画道路

まつやまちやまつせん

松山茶屋松線の整備を推進し、新産業都市の構築を目指します。

また、「産業の発展や交流による活力あふれるまち」の中での企業立地促進事業や勤労者定着促進事業に力を傾注してまいります。

さらに、観光資源の活用による観光客の誘致促進として、「歴史・伝統・文化を生かし次世代に継承するまち」の中での新居関跡保存整備事業とし、おんなあらためながや女改め長屋 復元整備工事のための実施設計に着手いたします。

また、これらの事業と併せて、市民の皆様の安全安心を守り、資源循環型社会を構築するため、「自然と環境に配慮したきれいなまち」の中では、今年度『全国花のまちづくりコンクール』で優秀賞を受賞しました、『花いっぱい運動』を市民の皆様とともに、さらに盛り上げてまいります。

(4 むすび)

私の掲げました5つの旗と新・湖西市総合計画の基本方針である7

つのまちの姿に即しまして、平成29年度一般会計予算案の主な取り組みについてご説明申し上げました。

今後も『社会保障経費の増加』や、『公共施設再配置等による施設の投資的経費の増加』が見込まれますが、市民の皆様とともに、中長期的な湖西市の将来ビジョンを描き、直面する課題に的確に対応し、「次の時代へ全力投球」してまいりますので、皆様方のご協力を賜りたいと存じます。

以上、平成29年度に向け、私の市政に対する基本的な姿勢を述べさせていただきました。

(了)